# -3. · h · C · 3

## 久太鼓ほうらい

▶お揃いのハッピを着て 練習に励むみなさん



### 心と身体に響く太鼓を楽しく叩きましょう!

太鼓を叩き楽しもうと『多久太鼓ほうらい』は、平成24年 2月に発足しました。和太鼓を中心とした伝承芸能や自然、 人々の営みを表現した創作太鼓に取り組んでいます。

会員は10人。毎週火曜日午後7時から北部小体育館のミー ティングルームで練習を重ねています。初めに入念に準備体 操をしてから練習です。最年少は1歳7か月の心養くん。い つもお母さんと参加しています。女性の参加者も多く、「太鼓 を叩くと、スキッとするし、発散できて気持ちがいい」と寒 い中での練習も、汗をかくほど熱中して叩きます。

北部小思い出の会や山犬原の収穫祭、老人会で「武者太鼓」 などの演奏を披露しました。お揃いのハッピやハチマキをし めて、現在の演目は4曲。演目を増やそうと練習に励んでい ます。

会長の小川誠さんは、「演奏を通して地域に貢献できればと 活動しているので、披露して喜んでもらえる機会を増やしたい」 と語り、太鼓に興味のある方、叩いてみたい方の参加を募集 しています。

借 代表 小川 誠 ☎75-5102

#### ●連載22● 郷土資料館で学ぶ多久の歴史

とうげんしょうしゃ

## 東原庠舎入学への心得「初入門心得之条々」

東原庠舎では、生徒は通常7~8歳から入門してい ました。初めて東原庠舎で学ぶ子どもたちのため、教 官を務めていた草場佩川 (1819~1887) が入門の心得 を分かりやすく記したものがこの「初入門心得之条々」 です。

「入門に当たってはまず真実の志を立て、先生の教 えに背かず、仁義忠孝の道に基づいて学ばなければな らない」「学校では礼儀を重んじ、威張ったり、年少者 をいじめたりしてはならない」など、学問や武芸に励 むことはもちろんですが、特に礼儀を重んじています。

東多久町出身の電気工学者・志田林三郎は計算が得 意であった幼少時代、「算術だけできても人の道を学ば なければ役には立たない。そのためまず儒学を勉強さ せたい」という役所の方針から、東原庠舎への入学が かないました。人格の形成を重んじる多久のこのよう な気風が、多くの偉人たちを生んだのです。

「初入門心得之条々」は先覚者資料館2号展示室に 展示しています。

▶草場佩川 「初入門心得之条々\_

或七種歲多於是終了行幼力 考して行いれたときるのはかく 考回さまかっち 以了多好為其知論 ちょうとん 的韓甲由 移移物言 冷まる、りす 下後、たーナガを有 ているとないるるるるのは ~好養所養文武清動 な成に我出たろ 多名の後 終しは得的一名 門己佐人はあ あるいろう

#### 多久市郷土資料館・歴史民俗資料館・先覚者資料館

開館時間 / 9 時~16時 入館 / 無料 休館日 / 月曜日(月曜が休日の場合は開館し翌火曜休館)

■問い合わせ 多久市郷土資料館 ☎75-3002

幾日前

寒鶯亭に

歌会有り

(角田紀美子師追悼)

お元気なお姿 今日

は

計報に

渕ミチ子

安全運転 過ぎた年 ご破算にして m 上も どん底もなく 生きている の夢 ビリ 柳 もう の 急げ急げと 步 Ó か 足に いと 《多久市川柳会 クラクショ 空に問う 初日 陽が当る 大谷 井上 西 の 高塚チカ 選

冬椿 排 荒巻が 起き抜けの 蘇酔ひに 術でふ すこやかに年 句 届きて面の 荒々し 言葉身に染む 爪の先まで 元朝の雪 重ねたし 眩 しみわたり野田キュ 四日 しけ 不二見恵美子 か 田中久美子 富 な 山 キヌ 芦 風

楷樹句会

互選

大輪 大空に ィクションの 恋も自在に 詠いきて ħ の の 日 牡 急に逝きにし 師の名呼び 急時 夕暮れのなか 師の駆けゆきし 六-丹の花の 崩るるごと 忌逝せし師の時雨が柩を ぬ は背の許へ 不意に旅立つ ぬらす音 風に吹かるる 無念ならむ 六十六年 浪 P 信子

短 歌 《麦の茅短歌会